

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：復旧治山事業
施行箇所：綱木

都道府県名：福島
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	1,933	
	流域貯水便益	225	
	水質浄化便益	471	
山地保全便益	土砂流出防止便益	32,038	
	土砂崩壊防止便益	72,483	
総 便 益 (B)		107,150	
総 費 用 (C)		28,845	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{107,150}{28,845} = 3.71$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：復旧治山事業
施行箇所：才鉢

都道府県名：福島
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	17,638	
	流域貯水便益	2,310	
	水質浄化便益	4,890	
山地保全便益	土砂流出防止便益	330,816	
	土砂崩壊防止便益	66,841	
総 便 益 (B)		422,495	
総 費 用 (C)		262,105	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{422,495}{262,105} = 1.61$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：復旧治山事業
施行箇所：旅人地区

都道府県名：福島
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	4,575	
	流域貯水便益	492	
	水質浄化便益	1,025	
災害防止便益	山地災害防止便益	241,991	
総 便 益 (B)		248,083	
総 費 用 (C)		52,883	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{248,083}{52,883} = 4.69$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：復旧治山事業
施行箇所：中倉

都道府県名：栃木
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	1,506	
	流域貯水便益	204	
	水質浄化便益	481	
山地保全便益	土砂流出防止便益	27,301	
	土砂崩壊防止便益	72,490	
総 便 益 (B)		101,982	
総 費 用 (C)		19,230	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{101,982}{19,230} = 5.30$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：復旧治山事業
施行箇所：元湯地区

都道府県名：栃木
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	2,183	
	流域貯水便益	386	
	水質浄化便益	944	
災害防止便益	山地災害防止便益	196,935	
総 便 益 (B)		200,448	
総 費 用 (C)		112,939	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{200,448}{112,939} = 1.77$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：復旧治山事業
施行箇所：日向倉沢

都道府県名：群馬
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	3,636	
	流域貯水便益	689	
	水質浄化便益	1,535	
災害防止便益	山地災害防止便益	254,426	
総 便 益 (B)		260,286	
総 費 用 (C)		50,695	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{260,286}{50,695} = 5.13$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：復旧治山事業
施行箇所：関

都道府県名：新潟
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	533	
	流域貯水便益	191	
	水質浄化便益	411	
災害防止便益	山地災害防止便益	327,230	
総 便 益 (B)		328,365	
総 費 用 (C)		40,965	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{328,365}{40,965} = 8.02$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：復旧治山事業
施行箇所：大代

都道府県名：静岡
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	14,910	
	流域貯水便益	2,931	
	水質浄化便益	6,542	
災害防止便益	山地災害防止便益	404,958	
総 便 益 (B)		429,341	
総 費 用 (C)		74,732	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{429,341}{74,732} = 5.75$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：予防治山事業
施行箇所：田付川

都道府県名：福島
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	3,197	
	流域貯水便益	658	
	水質浄化便益	1,457	
災害防止便益	山地災害防止便益	358,730	
総 便 益 (B)		364,042	
総 費 用 (C)		307,027	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{364,042}{307,027} = 1.19$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：予防治山事業
施行箇所：振子沢

都道府県名：群馬
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	4,146	
	流域貯水便益	512	
	水質浄化便益	1,127	
災害防止便益	山地災害防止便益	363,094	
総 便 益 (B)		368,879	
総 費 用 (C)		256,114	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{368,879}{256,114} = 1.44$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：予防治山事業
施行箇所：羽黒

都道府県名：新潟
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	5,775	
	流域貯水便益	2,368	
	水質浄化便益	5,213	
災害防止便益	山地災害防止便益	636,681	
総 便 益 (B)		650,037	
総 費 用 (C)		184,856	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{650,037}{184,856} = 3.52$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：水源地域整備事業
施行箇所：中村地区

都道府県名：福島
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	7,349	
	流域貯水便益	951	
	水質浄化便益	2,117	
災害防止便益	山地災害防止便益	747,024	
総 便 益 (B)		757,441	
総 費 用 (C)		97,323	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{757,441}{97,323} = 7.78$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名： 水源地域整備事業
施行箇所： 烏帽子地区

都道府県名： 群馬
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	36,871	
	流域貯水便益	10,757	
	水質浄化便益	25,762	
災害防止便益	山地災害防止便益	2,480,928	
総 便 益 (B)		2,554,318	
総 費 用 (C)		479,893	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{2,554,318}{479,893} = 5.32$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：水源地域整備事業
施行箇所：大仁田

都道府県名：群馬
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	15,314	
	流域貯水便益	3,826	
	水質浄化便益	8,917	
災害防止便益	山地災害防止便益	454,493	
総 便 益 (B)		482,550	
総 費 用 (C)		230,212	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{482,550}{230,212} = 2.10$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：水源地域整備事業
施行箇所：霧積山

都道府県名：群馬
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	12,329	
	流域貯水便益	3,833	
	水質浄化便益	8,441	
山地保全便益	土砂流出防止便益	407,917	
	土砂崩壊防止便益	44,860	
総 便 益 (B)		477,380	
総 費 用 (C)		118,897	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{477,380}{118,897} = 4.02$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：水源地域整備事業
施行箇所：奥利根水源の森

都道府県名：群馬
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	18,902	
	流域貯水便益	3,462	
	水質浄化便益	7,678	
山地保全便益	土砂流出防止便益	402,803	
	土砂崩壊防止便益	65,526	
総 便 益 (B)		498,371	
総 費 用 (C)		128,787	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{498,371}{128,787} = 3.87$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：水源地域整備事業
施行箇所：西ノ沢

都道府県名：新潟
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	91,292	
	流域貯水便益	20,035	
	水質浄化便益	43,210	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,825,142	
	土砂崩壊防止便益	66,001	
総 便 益 (B)		2,045,680	
総 費 用 (C)		461,264	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{2,045,680}{461,264} = 4.43$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：水源地域整備事業
施行箇所：金剛沢

都道府県名：静岡
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	4,922	
	流域貯水便益	1,318	
	水質浄化便益	3,092	
災害防止便益	山地災害防止便益	302,862	
総 便 益 (B)		312,194	
総 費 用 (C)		200,992	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{312,194}{200,992} = 1.55$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：保安林整備事業
施行箇所：新舞子

都道府県名：福島
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	165,996	
	流域貯水便益	38,886	
	水質浄化便益	82,338	
山地保全便益	土砂流出防止便益	177,771	
	土砂崩壊防止便益	34	
総 便 益 (B)		465,025	
総 費 用 (C)		67,327	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{465,025}{67,327} = 6.91$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：保安林整備事業
施行箇所：小川山地区

都道府県名：福島
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	195,718	
	流域貯水便益	46,816	
	水質浄化便益	99,129	
山地保全便益	土砂流出防止便益	209,614	
総 便 益 (B)		551,302	
総 費 用 (C)		29,807	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{551,302}{29,807} = 18.50$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：保安林整備事業
施行箇所：中茂庭地区

都道府県名：福島
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	214,216	
	流域貯水便益	54,323	
	水質浄化便益	121,678	
山地保全便益	土砂流出防止便益	307,539	
総 便 益 (B)		698,876	
総 費 用 (C)		35,672	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{698,876}{35,672} = 19.59$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：保安林整備事業
施行箇所：羽鳥地区

都道府県名：福島
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	18,722	
	流域貯水便益	5,557	
	水質浄化便益	11,866	
山地保全便益	土砂流出防止便益	25,046	
総 便 益 (B)		61,250	
総 費 用 (C)		2,500	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{61,250}{2,500} = 24.50$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：保安林整備事業
施行箇所：中津川下流地区

都道府県名：福島
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	45,154	
	流域貯水便益	18,986	
	水質浄化便益	42,172	
山地保全便益	土砂流出防止便益	80,628	
総 便 益 (B)		186,999	
総 費 用 (C)		8,942	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{186,999}{8,942} = 20.91$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：保安林整備事業
施行箇所：御前山地区

都道府県名：福島
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	138,804	
	流域貯水便益	58,369	
	水質浄化便益	129,622	
山地保全便益	土砂流出防止便益	247,766	
総 便 益 (B)		574,786	
総 費 用 (C)		27,307	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{574,786}{27,307} = 21.05$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：保安林整備事業
施行箇所：伊南地区

都道府県名：福島
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	66,376	
	流域貯水便益	28,092	
	水質浄化便益	62,396	
山地保全便益	土砂流出防止便益	118,471	
総 便 益 (B)		275,461	
総 費 用 (C)		18,461	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{275,461}{18,461} = 14.92$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：保安林整備事業
施行箇所：小林地区

都道府県名：福島
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	61,104	
	流域貯水便益	25,867	
	水質浄化便益	57,444	
山地保全便益	土砂流出防止便益	109,078	
総 便 益 (B)		253,603	
総 費 用 (C)		16,826	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{253,603}{16,826} = 15.07$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：保安林整備事業
施行箇所：鶏頂地区

都道府県名：栃木
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	67,745	
	流域貯水便益	35,099	
	水質浄化便益	74,474	
山地保全便益	土砂流出防止便益	103,651	
総 便 益 (B)		281,163	
総 費 用 (C)		11,250	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{281,163}{11,250} = 24.99$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：保安林整備事業
施行箇所：下仁田地区

都道府県名：群馬
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	85,301	
	流域貯水便益	26,401	
	水質浄化便益	61,627	
山地保全便益	土砂流出防止便益	130,503	
総 便 益 (B)		304,344	
総 費 用 (C)		13,269	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{304,344}{13,269} = 22.94$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：保安林整備事業
施行箇所：松井田地区

都道府県名：群馬
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	22,498	
	流域貯水便益	6,967	
	水質浄化便益	16,258	
山地保全便益	土砂流出防止便益	34,438	
総 便 益 (B)		80,287	
総 費 用 (C)		3,558	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{80,287}{3,558} = 22.57$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：保安林整備事業
施行箇所：三川地区

都道府県名：新潟
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	141,000	
	流域貯水便益	117,209	
	水質浄化便益	254,701	
山地保全便益	土砂流出防止便益	251,700	
総 便 益 (B)		764,854	
総 費 用 (C)		31,249	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{764,854}{31,249} = 24.48$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：保安林整備事業
施行箇所：高根川地区

都道府県名：新潟
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	182,408	
	流域貯水便益	130,749	
	水質浄化便益	284,124	
山地保全便益	土砂流出防止便益	271,336	
総 便 益 (B)		868,727	
総 費 用 (C)		22,595	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{868,727}{22,595} = 38.45$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：保安林整備事業
施行箇所：板当地区

都道府県名：東京
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	19,675	
	流域貯水便益	3,561	
	水質浄化便益	8,860	
山地保全便益	土砂流出防止便益	449,867	
総 便 益 (B)		481,963	
総 費 用 (C)		83,420	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{481,963}{83,420} = 5.78$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：保安林整備事業
施行箇所：大鍋

都道府県名：静岡
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	76,011	
	流域貯水便益	40,110	
	水質浄化便益	92,455	
山地保全便益	土砂崩壊防止便益	2,576	
総 便 益 (B)		211,152	
総 費 用 (C)		14,423	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{211,152}{14,423} = 14.64$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：保安林整備事業
施行箇所：静岡

都道府県名：静岡
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	225,290	
	流域貯水便益	93,696	
	水質浄化便益	209,500	
山地保全便益	土砂崩壊防止便益	2,576	
総 便 益 (B)		531,062	
総 費 用 (C)		30,191	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{531,062}{30,191} = 17.59$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：保安林整備事業
施行箇所：杉川地区

都道府県名：静岡
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	109,886	
	流域貯水便益	60,242	
	水質浄化便益	141,395	
山地保全便益	土砂流出防止便益	143,180	
総 便 益 (B)		457,375	
総 費 用 (C)		34,614	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{457,375}{34,614} = 13.21$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：保安林整備事業
施行箇所：ヤナ沢地区

都道府県名：静岡
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	10,909	
	流域貯水便益	5,984	
	水質浄化便益	14,044	
山地保全便益	土砂流出防止便益	14,218	
総 便 益 (B)		45,417	
総 費 用 (C)		5,769	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{45,417}{5,769} = 7.87$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：保安林整備事業
施行箇所：西俣地区

都道府県名：静岡
(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	22,817	
	流域貯水便益	12,506	
	水質浄化便益	29,364	
山地保全便益	土砂流出防止便益	29,730	
総 便 益 (B)		94,974	
総 費 用 (C)		8,654	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{94,974}{8,654} = 10.97$		

様式1

便 益 集 計 表
(治山事業)

事業名：保安林整備事業
施行箇所：上修行堀

都道府県名：千葉
(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	15,883	
	流域貯水便益	6,161	
	水質浄化便益	21,057	
山地保全便益	土砂崩壊防止便益	2,576	
総 便 益 (B)		45,677	
総 費 用 (C)		9,230	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{45,677}{9,230} = 4.95$		